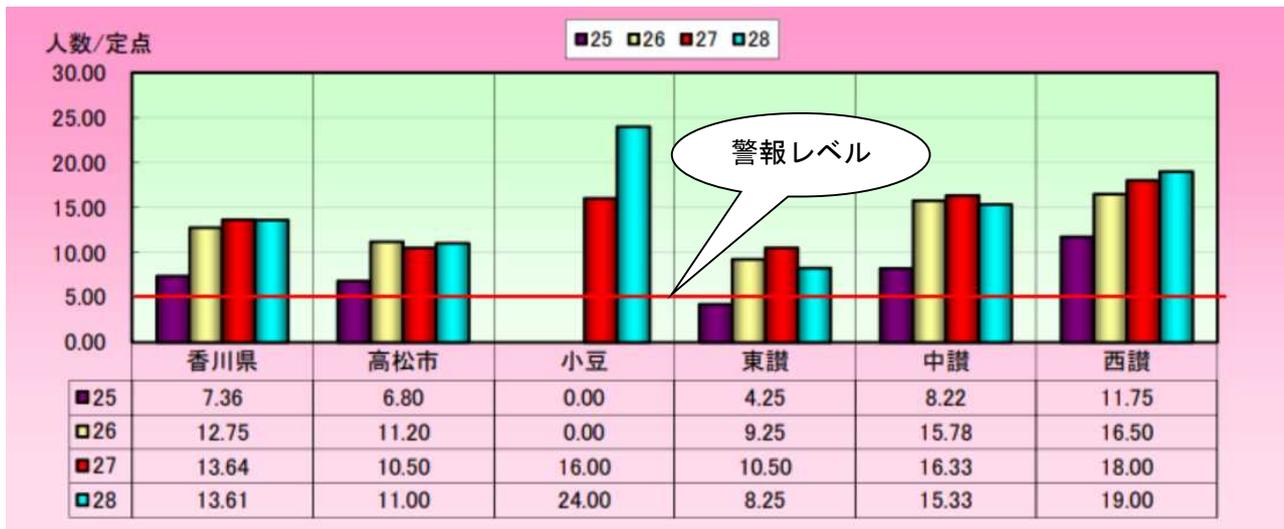


手足口病に気をつけましょう！

手足口病は、夏に流行する感染症です。現在、小豆保健所管内で流行していますので、しっかりと手洗いをするなど感染防止に努めましょう。

○保健所別定点当たり患者数（最近4週の発生状況）

〔令和6年 第25週（6月17日～6月23日） ～ 第28週（7月8日～7月14日）〕



◇手足口病とは？

エンテロウイルス71型などのウイルスによる感染症です。乳幼児のあいだで流行しやすく、夏風邪の一種とも言われます。

複数のウイルスが原因となるため、何度もかかることがあります。

◇潜伏期間と症状は？

3～5日の潜伏期間ののち、手のひら、足の裏、口の中の粘膜に水泡性のブツブツが現れます。約3人に1人の割合で軽度の発熱がみられます。

たいていは数日間のうちに自然におさまりますが、高熱、吐き気、頭痛の強いとき、不機嫌なときなどは早めに医療機関に相談してください。

◇感染経路は？

せきやくしゃみなどによる飛沫感染や、感染者の鼻水や便などの中にいるウイルスが、手などによって、口や鼻に運ばれることで感染する接触感染でうつります。



◇感染予防のポイント

- ①しっかりと手洗い・うがいをしましょう。
- ②感染者とのタオルの共用は避けましょう。
- ③回復後2～4週間は、便からウイルスの排出がありますので、処理するときには特に注意が必要です。